

## IV. 使用した調査票



# 令和3年度(第52回) 県政世論調査

令和3年8月

調査委託者 富山県知事政策局広報課

調査受託者 株式会社ジェック経営コンサルタント



## 世論調査のお願いについて

この調査は、県民のみなさんが日頃の生活の中で感じていらっしゃる県の仕事についてどのようなご意見、あるいはご要望を持っておられるかをお伺いして、今後の県の施策に役立てることを目的としています。

あなたを対象として選ばせていただいたのは、クジ引式による統計的な方法によったものです。この調査でお聞きしたことを、他の目的に使ったり、個人の名前を出したりすることは絶対にありませんので、ぜひご協力をお願いいたします。

調査対象者ご自身がご記入いただきますようお願いいたします。

どちらかを選び、ご回答ください。

### ①本調査票の郵送によりお答えいただく方

⇒次ページよりお答えください。

- ・本紙へ直接ご記入ください。
- ・本同梱のボールペンでご記入ください。
- ・該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ・回答が終わりましたら同梱の返信用封筒に入れ、ご投函ください。  
(切手不要です。)

### ②インターネットでお答えいただく方

- ・下記のQRコードもしくは、下記サイトよりお入りください。
- ・利用者IDを必ずご入力ください。  
※IDは右上8桁の番号です。



(下記サイトURL)

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/XpGQacSk>

※利用者IDは、インターネット回答を利用される際に必要です。また、郵送回答とインターネット回答の重複がないか確認するために使います。

回答の〆切は

令和3年8月30日(月) です。

【調査全般について】 富山県知事政策局広報課 県民の声係まで  
TEL 076-444-8909 FAX 076-444-3478  
メール akoho@pref.toyama.lg.jp



【次に、県政全般についてお聞きします】



<政策の満足度について>

問1 あなたは県の政策に対してどの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともい えない	どちらかとい えば不満である	不満である

<経済対策・産業振興など>

1	景気対策	1	2	3	4	5
2	新たな成長産業の育成	1	2	3	4	5
3	産学官連携によるものづくり産業の振興	1	2	3	4	5
4	未来を拓く起業チャレンジへの支援	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	1	2	3	4	5
6	中小企業の振興	1	2	3	4	5
7	デザインの振興と活用	1	2	3	4	5
8	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1	2	3	4	5
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	1	2	3	4	5
10	雇用の確保と人材の育成	1	2	3	4	5
11	農業生産の振興	1	2	3	4	5
12	森林の整備と林業の振興	1	2	3	4	5
13	水産業の振興	1	2	3	4	5
14	北陸新幹線の整備促進	1	2	3	4	5
15	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	1	2	3	4	5
16	利便性の高い道路ネットワークの整備	1	2	3	4	5
17	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	1	2	3	4	5
18	情報通信基盤の充実と活用	1	2	3	4	5
19	選ばれ続ける観光地づくり	1	2	3	4	5
20	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
21	中心市街地の賑わいの創出	1	2	3	4	5
22	国際観光の推進	1	2	3	4	5
23	富山のブランド力アップ	1	2	3	4	5

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともい えない	どちらかとい えば不満である	不満である

<少子化対策・地域づくりなど>

24	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	1	2	3	4	5
25	子育て支援	1	2	3	4	5
26	家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	1	2	3	4	5
27	子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	1	2	3	4	5
28	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	1	2	3	4	5
29	大学教育・学術研究・科学技術の振興	1	2	3	4	5
30	生涯をとおした学びの推進	1	2	3	4	5
31	ふるさとを学び楽しむ環境づくり	1	2	3	4	5
32	芸術文化の振興	1	2	3	4	5
33	スポーツの振興	1	2	3	4	5
34	社会貢献活動の推進	1	2	3	4	5
35	若者の自立促進とチャレンジ支援	1	2	3	4	5
36	男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
37	元気な高齢者の活躍の場の拡大	1	2	3	4	5
38	人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	1	2	3	4	5
39	国際社会における地域づくり・人づくり	1	2	3	4	5
40	交流人口の拡大、定住・半定住の促進	1	2	3	4	5
41	自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	1	2	3	4	5
42	地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	1	2	3	4	5
43	農山漁村の活性化	1	2	3	4	5
44	豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	1	2	3	4	5

<医療福祉、環境保全、防災対策など>

45	地域総合福祉の推進	1	2	3	4	5
46	医療提供体制の充実	1	2	3	4	5
47	健康づくりと疾病対策の推進	1	2	3	4	5
48	高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5
49	障害者福祉の充実	1	2	3	4	5
50	食の安全確保と地産地消・食育の推進	1	2	3	4	5
51	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	1	2	3	4	5
52	自然環境の保全	1	2	3	4	5
53	生活環境の保全	1	2	3	4	5
54	水資源の保全と活用	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	満足している	どちらかといえ ば	どちらともい えない	不満である といえ ば	不満である
55 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保 . . . . .	1	2	3	4	5
56 県土保全の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
57 防災・危機管理体制の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
58 地震防災対策の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
59 雪に強いまちづくり . . . . .	1	2	3	4	5
60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり . . . . .	1	2	3	4	5
61 生活交通の確保 . . . . .	1	2	3	4	5
62 住環境の整備 . . . . .	1	2	3	4	5
63 消費生活の安全の確保 . . . . .	1	2	3	4	5

<人材の育成>

64 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子ども</span> 富山県や日本を担う子どもの育成 . . . . .	1	2	3	4	5
65 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">若者</span> 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進 . . . . .	1	2	3	4	5
66 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">女性</span> 女性の活躍とチャレンジへの支援 . . . . .	1	2	3	4	5
67 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">働き盛り</span> すべての人が活躍できる環境づくり . . . . .	1	2	3	4	5
68 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高齢者</span> エイジレス社会の実現 . . . . .	1	2	3	4	5

<県政運営>

69 オープンで分かりやすい県政 . . . . .	1	2	3	4	5
70 県民の自立と幸せを重視する県政 . . . . .	1	2	3	4	5
71 スピード重視の県政 . . . . .	1	2	3	4	5
72 現場重視で効率的な県政 . . . . .	1	2	3	4	5
73 市町村、地域の自立と支援 . . . . .	1	2	3	4	5

<県政への要望について>

問2 問1の項目の1番～68番のうち（※69番～73番の<県政運営>は除きます）、いま、あなたがもっと力を入れてほしいと思っている県の政策はどれですか。  
5つ以内で選んでください。（下記の枠内に番号を記載してください。）

--	--	--	--	--

【次に、個別の施策についてお聞きします】



<ウェルビーイングについて>

ウェルビーイングとは、身体的にも、精神的にも、社会的にも、全てが満たされた状態にあることを意味する概念です。

国の「成長戦略実行計画」(R3.6.18)においても、「成長戦略による成長と分配の好循環の拡大などを通じて、格差是正を図りつつ、一人一人の国民が結果的にWell-beingを実感できる社会の実現を目指す。」と記載されるなど、重要な観点とされています。

問3-1 ウェルビーイングについてご存知か教えてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

問3-2 問3-1で、「1. 言葉も意味も知っている」と回答した方にお尋ねします。 ウェルビーイングを知った主なきっかけを3つ以内で選んでください。

1. 新聞や雑誌、テレビなどの媒体
2. ホームページ(ウェブサイト)・SNS
3. 県のホームページ
4. 国の報告書等
5. 民間研究機関等の報告書等
6. 学校(授業)での取り組み
7. 職場・仕事での取り組み
8. 民間企業や各種団体での取り組み(シンポジウム等)
9. その他( )

<カーボンニュートラルの推進について>

国は、2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ※にする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。県でも、国に先駆け、2020年3月に「とやまゼロカーボン推進宣言」を行い、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ※にすることを目標に掲げています。

その実現に向けては、県民一人ひとりが近い未来の目標を認識し、省エネルギーの推進に取り組むとともに、再生可能エネルギーを最大限導入していくことが重要です。

カーボンニュートラルの推進に関して、以下の質問にお答えください。

※「排出を全体としてゼロ」「実質ゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて実質的な排出量をゼロにすることを意味しています。

問4 あなたは、カーボンニュートラルについて関心がありますか。

次の中から1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. まあまあ関心がある
3. どちらともいえない
4. あまり関心がない
5. まったく関心がない
6. そもそも聞いたことがない

問5 あなたは、どの再生可能エネルギー等について知っていますか。

次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 水力発電（小水力発電）
2. 太陽光発電
3. 太陽熱利用（太陽熱温水器等）
4. バイオマス発電
5. 風力発電
6. 地熱発電
7. 蓄電池
8. 電気自動車
9. 水素エネルギー
10. 家庭用燃料電池（エネファーム）
11. その他（具体的に )

問6-1 あなたのご家庭では、再生可能エネルギー等を活用していますか。

1. 既に活用している
2. 現時点では活用していないが、興味はある
3. 活用予定はない

問6-2 問6-1で「1. 既に活用している」と回答した方にお尋ねします。  
あなたのご家庭では、どのような再生可能エネルギー等を活用していますか。  
次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 太陽光発電のためのソーラーパネルを設置
2. 太陽熱を利用する設備（太陽熱温水器等）を設置
3. 電気自動車を利用
4. 家庭用燃料電池（エネファーム）を設置
5. その他（具体的に )

## <SDGsについて>

SDGs（「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)）とは、様々な課題に対して経済・社会・環境の三側面から統合的に取り組み、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、2015年9月の国連サミットで採択された、全ての国が取り組むべき2030年を年限とする17の国際目標のことです。

わが国においても、国が日本の国内外においてSDGsを達成するための中長期的な国家戦略として「SDGs実施指針」を定め、その実施に最大限取り組むこととしており、地方創生の推進にあたっては、地域課題の解決を目指すための重要な観点であるとされています。

問7-1 SDGsについてご存知か教えてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

問7-2 問7-1で、「1. 言葉も意味も知っている」と回答した方にお尋ねします。 SDGsを知った主なきっかけを3つ以内で選んでください。

1. 県のSDGs関連イベント
2. 県広報誌
3. 県広報番組（テレビ・ラジオ）
4. 県のホームページ・SNS
5. 市町村での取り組み
6. 職場・仕事での取り組み
7. 民間企業や各種団体での取り組み
8. 学校（授業など）での取り組み
9. 新聞やテレビなどの媒体
10. その他（ ）

SDGsの12番目の目標「つくる責任 つかう責任」に関わる取組として、近年、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」への関心が高まっていますが、その認知度は決して高いとはいえません。

「エシカル消費」に関して、以下の質問にお答えください。

問8 以下の選択肢は、「エシカル消費」の一例です。あなたは、日頃の買物で、以下のことを意識していますか。

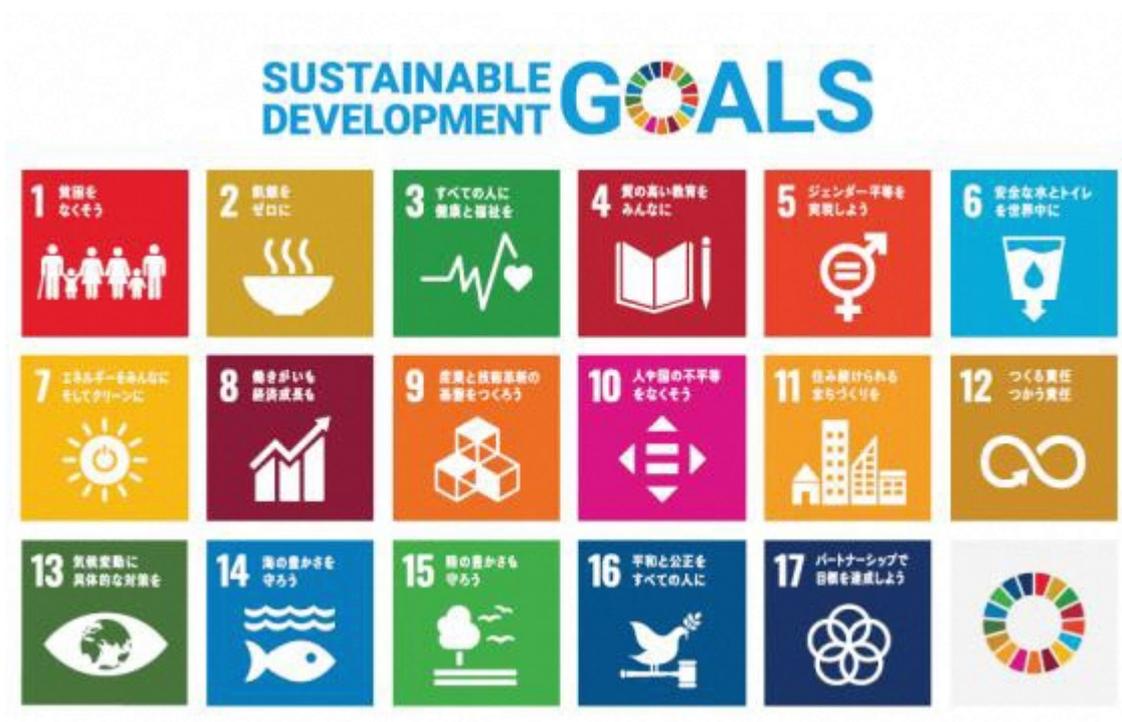
次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶ
2. 地元産品を購入して地産地消を实践する
3. 容器や包装の少ないものを選ぶ

4. レジ袋をもらわない
5. ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う
6. 弁当・総菜などを購入するときに不要なフォーク・スプーンをもらわない
7. リサイクル素材でできた商品（再生紙など）を選ぶ
8. フェアトレード商品※を選ぶ
9. 社会貢献活動に熱心な企業のものを選ぶ
10. ほとんど・全く意識していない

※ 「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を、生産者の生活に配慮した公正な価格で継続的に買い取る取引のこと。

## 〇17の目標



<働き方改革について>

人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴い、本県の労働力人口は減少し、本県経済活力の減退が懸念されており、労働生産性の向上を図りながら、誰もが働きやすい職場環境づくりを実現する「働き方改革」が求められています。

問9 「働き方改革」についてご存知か教えてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

問10 「働き方改革」を進めていくにあたって、特に重要と考えるものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 長時間労働の是正と休暇の取得促進
2. 育児介護休暇・休業制度の充実（男性も女性も取得しやすい制度など）
3. 仕事の進め方の見直し（業務プロセス改善、DX（※）、ITツール導入など）
4. 柔軟な働き方の促進（テレワーク、フレックスタイム、兼業・副業など）
5. 職場の雰囲気づくり
6. 女性の活躍推進（女性管理職登用、再就職支援など）
7. 高齢者の就業促進（雇用促進、定年の引き上げなど）
8. 学び直し（リカレント教育）の機会の確保
9. その他（）

※ デジタルトランスフォーメーションの略。データとデジタル技術を活用して、業務そのものや組織、企業文化、風土等を変革し、競争上の優位性を確立すること。

<女性の活躍推進について>

本県の女性の就業をめぐる状況を見ると、就業率（全国3位：2015年）、平均勤続年数（全国6位：2017年）、共働き率（全国4位：2015年）は、いずれも全国トップクラスにあり、女性雇用者に占める正社員の割合（全国3位：2017年）も高い状況にあります。一方で、就業者のうち従業員における女性の管理職比率は7.6%、全国44位（2015年）、会社役員や個人事業主を含めた就業者全体の女性の管理職比率は14.4%、全国41位（2015年）と低い水準に留まっています。

問11 あなたは、女性が積極的に組織の意思決定に関わるポスト（管理職）に就くべきだと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問12 あなたは、女性が管理職に就く際に障害となることは何だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。

1. 企業において女性管理職を望まない傾向にあること
2. 顧客や取引先が女性管理職を望まない傾向にあること
3. 家族・親類が管理職就任を望まない傾向にあること
4. 本人が管理職就任を望まないと思われていること
5. 育児・介護・家事などで家族の支援が十分得られないこと
6. 長時間労働の改善など働き方改革が十分ではないこと
7. その他（ )

半分を超えました！もう少しです！





<「新しい生活様式」の実践について>

問14 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「新しい生活様式」として、①身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いの励行など一人ひとりの基本的感染対策や、②こまめな換気や「3密」の回避など日常生活を営む上での基本的な生活様式、③買い物や娯楽・スポーツ、公共交通機関の利用、食事など日常生活の各場面別の生活様式などについて具体例が示され、感染拡大防止のために積極的に推奨されています。

これらの「新しい生活様式」について、皆さんの日常生活のなかで、どれを実践されていますか？次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 外出時や会話するときにはマスクを着用している。
2. 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗っている。
3. 接触確認アプリを活用している。
4. 感染が流行している地域への移動を控えている。
5. 公共交通機関の利用にあたり、混んでいる時間帯を避けている。
6. 公共交通機関の利用を控え、徒歩や自転車を利用している。
7. 買い物は電子決済を利用している。
8. 買い物は少人数で空いた時間に行っている。
9. 買い物でレジに並ぶときは、前後にスペースを空けている。
10. 外食を控え、持ち帰りや出前、デリバリーを利用している。
11. 「新しい生活様式」を知ってはいるが、あまり実践していない。
12. 「新しい生活様式」を知らない。

＜福祉施策の充実について＞

問 15-1 あなたは、ご自身の介護が必要になった場合、どのような生活を望みますか。

次の中から1つ選んでください。

1. 自宅で、家族の世話を受けながら、生活を続けたい
2. 自宅で、介護サービス等（ホームヘルパーや訪問診療・看護、富山型デイサービスなど）を活用しながら、生活を続けたい
3. 自宅で、家族の世話や介護サービス等を受けて、生活を続けたい
4. 子どもや親戚などの家に移って、子どもや親戚の世話及び介護サービス等を受けて生活したい
5. 住み慣れた地域にあるグループホームなど、小規模な施設に入居して生活したい
6. 特別養護老人ホームなど、大規模な介護保険施設に入居して生活したい
7. 介護が受けられる有料老人ホームなどに移って生活したい
8. その他（ ）

問 15-2 問 15-1 で 1 から 5 までの選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

誰もが住み慣れた地域で安心して生活するため、取り組むべき課題を、次の中から2つ選んでください。

1. 地域住民が参加し、お互いに支え合うネットワークづくりの推進
2. 高齢者、障害者、子どもなど、誰もが住み慣れた地域と一緒にサービスを受けられる場（富山型デイサービス等）の整備
3. 地域住民の福祉活動（ボランティア活動）の支援及び参加促進
4. 保健、医療及び福祉人材の確保や資質の向上
5. 子どもの時からの福祉教育の充実
6. その他（ ）

### <地産地消に関する意識調査について>

問16 あなたは、スーパーなどで買い物するとき、富山県産の農林水産物を意識して購入するように心がけていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 日頃から意識して購入するようにしている
2. どちらかという意識して購入している
3. どちらともいえない
4. あまり意識して購入したことがない
5. 意識して購入したことがない

### <食品ロスの削減について>

食品ロス削減は、国連のSDGs（持続可能な開発目標）で「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減する」という目標が設定されており、世界的な課題となっています。県では、食品ロス・食品廃棄物の削減に取り組む県民総参加の運動を展開しているところであり、令和2年4月には、食品ロス削減の取組みを総合的に推進するため、「富山県食品ロス削減推進計画」を策定するとともに、令和2年12月には、「食品ロス削減全国大会」を本県で開催しました。食品ロスに関して、以下の質問にお答えください。

問17 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. よく知っていた
2. ある程度知っていた
3. あまり知らなかった
4. ほとんど・全く知らなかった

※ 「食品ロス」とは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものです。また、「食品廃棄物」とは、食品ロスに加え、魚の骨や野菜の皮、調理油など、通常は食べられない部分も含んだものです。

日本では年間約2,531万トンの食品廃棄物等が排出されており、そのうち食品ロスは、年間約600万トンと試算（本県では食品廃棄物は年間約17.0万トン、うち食品ロスは4.3万トンと試算）され、資源・環境等の観点から大きな問題となっています。

75%終了！もうひと踏ん張り！



問18 「食品ロス」の軽減につながる以下の工夫の中で、あなたが取り組んでいることはありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する
2. すぐに食べるものは、消費期限(※<sup>1</sup>)・賞味期限(※<sup>1</sup>)の近いものから購入する
3. 商慣習の見直し(納品期限の緩和)を先行して進めている「飲料及び賞味期間180日以上菓子」について賞味期限の近いものから購入する
4. 店舗でのある程度の欠品を許容する
5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
6. 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
7. 宴会等の食べ残しを減らすため、宴会の開始後30分と終了前15分に食事を楽しむ時間を設定する「3015運動(※<sup>2</sup>)」を実践する
8. 飲食店等で注文し過ぎない
9. 残さず食べる
10. フードドライブ(※<sup>3</sup>)に協力する
11. その他(具体的に： )
12. 取り組んでいることはない

※<sup>1</sup> 「消費期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、表示の年月日まで、安全に食べられる期限のことで、この期限を過ぎたら食べないほうが良いとされています。

「賞味期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べることができる期限のことで、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。

※<sup>2</sup> 「3015(さんまるいちご)運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動です。

〔食べきり3015運動〕：宴会時において、開宴後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動です。

〔使いきり3015運動〕：毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使いきる運動です。

※<sup>3</sup> 「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動です。



【最後に、あなたの意識についてお聞きします】



問20 次の設問について、あなたが普段どのように感じられたり、どのように思ったりされているかお聞かせください。

(1) あなたは、富山県は住みよい県だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に住みよい
2. まあまあ住みよい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

(2) これからも富山県に住みたいと思われませんか。次の中から1つ選んでください。(通学、転勤等により県外に転出される予定がある方についても、ご自身の意識としてお答えください。)

1. これからも富山県に住みたいと思う
2. 県外に転出したいと思う
3. わからない

(3) あなたは、仕事に充実感(満足感)を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に充実している
2. まあまあ充実している
3. どちらともいえない
4. あまり充実していない
5. まったく充実していない
6. 仕事をしていない

(4) あなたは「富山県」に対して、どの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. とても愛着がある
2. やや愛着がある
3. どちらでもない
4. あまり愛着がない
5. まったく愛着がない

あと2ページです!



(5) あなたは富山県のどのような点を誇りに思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと
2. 誇れる温泉やレジャー施設・公園などがあること
3. スポーツの参加・観戦が楽しめること
4. 伝統芸能、祭り、イベントがあること
5. 誇れる街並みや歴史建造物があること
6. 歴史人物、著名人、職人などにゆかりがあること
7. 誇れる美術館・博物館があること
8. 土産や地域産品があること
9. 優れた伝統技術があること
10. 誇れる商店街や店舗があること
11. 地元産の食材が豊富なこと
12. 食事がおいしいこと
13. 道路や交通の便が良いこと
14. 誇れる宿泊施設があること
15. 人のよさや優しさ、おもてなしがよいこと
16. 地域を代表する産業や企業があること
17. 教育（教育機関・博物館等）が充実していること
18. 子育てがしやすい環境なこと
19. 医療や福祉が充実していること
20. 行政サービスが充実していること
21. 災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること
22. 財政が健全であること
23. メディアでよく取り上げられること
24. 他都道府県民からうらやましく思われること

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. たくさんある
2. 少しはある
3. ない

(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に充足されている
2. ある程度充足されている
3. あまり充足されていない
4. まったく充足されていない
5. わからない

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に果たしている
2. ある程度果たしている
3. あまり果たしていない
4. まったく果たしていない
5. わからない

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習※を行ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. ある
2. ない

※ 生涯学習とは、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していないが、今後は参加したい
4. 参加していないし、今後も参加したくない

※ 調査は以上で終了です。

ご協力ありがとうございました。

